

令和7年11月20日

件名 高崎市文化賞受賞者決定！令和7年度高崎市文化賞授賞式の開催について

高崎市文化賞は、高崎市文化賞条例に基づき、学術及び芸術文化活動の振興に努め功労顕著であった者を、高崎市文化賞受賞者選考委員会が市長に推薦し市長が決定するものです。
本年度の受賞者は、小見勝榮氏（文化振興）、竹本京氏（人形工芸）の2名に決定しました。
については、下記により令和7年度高崎市文化賞授賞式を行います。

記

- 1 授賞式日時 令和7年11月26日（水）午前11時00分から
- 2 授賞式会場 市長応接室（高崎市庁舎6階）
- 3 受賞者 小見 勝榮 （こみ かつえい）／83歳
高崎市下小鳥町
竹本 京 （たけもと きょう）／78歳
高崎市中居町

＊年齢順

＊受賞者略歴は別紙のとおり

【本件に関する問い合わせ】

総務部文化課

電話：027-321-1203

小見 勝榮（こみ かつえい）

主な功績 文化振興

住 所 高崎市下小鳥町
年 齢 83 歳



【略歴】

茶舗経営、元高崎市民新聞編集主幹、
元高崎市教育委員長、公民館運営審議委員
高崎映画祭運営委員、一社）高崎学童 理事長、
高崎伝統文化の館館長

【賞歴】

昭和 4 7 年度上毛文学賞小説部門佳作
平成 1 6 年「上毛社会賞」
平成 1 7 年国際ソロプチミスト財団「社会ボランティア賞」

【受賞理由】

昭和 4 7 年度上毛文学賞小説部門佳作。
大学卒業後、教職につくが退職し茶舗を経営。併せて郷土誌として評判の高かった高崎市民新聞の編集主幹として健筆を奮う。昭和 6 0 年「裸の教育者 沼賀健次伝」を執筆。
学童保育の設立や熱心な地域活動が認められ平成 1 6 年に上毛新聞社から「上毛社会賞」、翌 1 7 年に国際ソロプチミスト財団から「社会ボランティア賞」を授与された。その活動を「学童保育あすなろ物語」として著書に残す。小説集や他にも著作有り。地域の文芸活動にも熱心で村上鬼城顕彰会や吉野秀雄短歌大会等にも尽力された。

竹本 京（たけもと きょう）

（本名：竹本 清子 たけもと きよこ）

主な功績 人形工芸
住 所 高崎市中居町
年 齢 78 歳

【略歴】

一般社団法人群馬県作家協会理事、
高崎市民美術展覧会工芸部門審査員、
竹本京人形工房主宰



【賞歴】

昭和60年	人形美術協会人形美術展	初入選
平成10年	高崎市民美術展覧会	委員大賞
平成15年	群馬県作家協会展	県知事賞

【受賞理由】

人形工芸を学び、20代で高崎市内に人形工房を開設し現在に至るまで創作活動に励む。高崎市民美術展覧会や群馬県美術展、群馬県作家協会展など、最高賞を含め様々な受賞歴を持つ。日本絹の里では、2004年から、竹本さんの作品展示を中心とした「ちりめん創作人形展」が行われ、現在まで14回開催している。NHKや群馬テレビにも取り上げられ、サントリーのテレビCMや新聞広告の人形を依頼されるなど、人形制作の実力派として全国的にも認められている。現在は自らの工房を主宰しながら、市内の公民館など各地で創作人形の指導、普及に努めている。